

福岡市
実証実験
フルサポート事業

【楽天株式会社】実施報告書

2019.05.15

1. 会社概要

【プロジェクト名】 福岡市キャッシュレス実証実験プロジェクト

【会社名】 楽天株式会社

【代表者名】 三木谷浩史

【住所】 東京都世田谷区玉川一丁目14番1号

【ウェブサイト】 <https://corp.rakuten.co.jp/>

【沿革】 <https://corp.rakuten.co.jp/about/history.html>

2. 実証実験の目的 (なぜ実証実験をやるのか)

【課題】

- 増加する訪日外国人、域外からの出張者、観光客の利便性
- 福岡市内の中小企業、個人事業主の安全かつ健全な事業運営

【目的】

- 増加する訪日外国人の福岡市内における消費の最大化
- 域外からの外貨獲得の最大化
- 福岡市内の中小企業、個人事業主（飲食、物販）の業務効率化



本実証実験を契機としたキャッシュレス環境整備

2. 実証実験の目的 (なぜ実証実験をやるのか)

「キャッシュレスFUKUOKA」の機運醸成および、民間企業のキャッシュレス化推進の加速を図ることを目的としモバイル決済や電子マネー等のキャッシュレスサービスの有効性や効果の実証を行う。

キャッシュレス実証実験



3. 実証実験の内容（フルサポート事業のゴール）

- 市内キャッシュレス機運向上・民間企業の取り組み加速に向けて、キャッシュレス普及のための【状況把握】【課題抽出】【打ち手の実施・検証】を遂行し、次期本格プロモーションにつながることをゴールとします。

<状況把握>

- ・福岡市キャッシュレス普及状況を近隣県と比較し、把握出来ている（クレジットカード事業者のファクトデータで行う）

<課題抽出>

- ・福岡市キャッシュレス普及に向けた課題が抽出・考察出来ている（事業業態別の課題、キャッシュレス導入ハードルの把握）

<打ち手の実施・検証>

- ・福岡市キャッシュレス課題に対する打ち手とその検証が出来ている（キャッシュレス導入ハードル解消／消費者のキャッシュレス促進）
-

5. 実施報告（データの件数・内容, その検証・分析結果・課題）

■ 新規導入店舗様インタビュー①



【屋台】A様

■ 楽天ペイの導入目的（期待）

- ①お会計業務の効率改善
- ②楽天スーパーポイントの取り込みによる、新規客の獲得

■ 結果

- ①スマホの決済画面を確認するのみで、お会計の度に、現金を数えたり、釣り銭準備が不要。また、導入費用が一切かからないことも良かった。
- ②楽天スーパーポイントでの支払いもあったので、導入効果は感じた。



5. 実施報告（データの件数・内容, その検証・分析結果・課題）

■ 新規導入店舗様インタビュー②



【屋台】B様

■ 店主様のコメント

お客様視点

- ・アプリ決済以外に、
クレカ・電子マネー・交通系ICの平行導入により
お客様の選択肢が増え、幅広いニーズに対応
- ・お客様が予め現金を準備する手間不要（お客様談）

店舗視点

- ・手元に現金が減ったので安全
- ・銀行に行く回数が減り、業務効率アップ
- ・必要な時に、入金依頼ができるので便利

5. 実施報告（データの件数・内容、その検証・分析結果・課題）

■ 新規導入店舗様からのメッセージ

■ 今後、期待すること

- ・アプリ決済（QRコード決済）利用者の更なる拡大
- ・楽天スーパーポイントを特典にした集客キャンペーンの実施

■ 未導入事業者様へ一言

- ・アプリ決済（QRコード決済）利用者が増えてることを実感しています！
導入理由・キッカケは、店舗によって様々ですが
まずは、「試しに！」というお考えで導入してみてもいいのではないでしょうか。

6. 実施結果と今後の展望

● 実施結果

- ・ 実証実験開始を基点に、事業者や消費者にキャッシュレスが浸透し加盟店数、流通額、決済数が拡大。
また、アプリ決済は決済単価向上にも寄与
- ・ アプリ決済では、楽天スーパーポイント利用するユーザー多く、初アプリ決済消費者は、同決済を継続利用する傾向にある。

● 実証実験後の展望

- ・ 利用者拡大へ向けたキャンペーンの継続的实施
(例:楽天スーパーポイント10%バック)
 - ・ 商店街や商業施設限定のキャンペーン実施
 - ・ 中小企業への「キャッシュレス・消費者還元事業」の周知強化
 - ・ 導入後の売上拡大、及び楽天ペイ活用した集客ノウハウの提供
-